


# 新しいステージを迎えた オペレーショナル・リスク管理の高度化

## ～高度化への取り組みを促す共同データベースの機能と役割～

オペレーショナルリスクの共同データベースを構築し、実際に金融機関で起きたリスク事象やシナリオの提供サービスを開始することを、2つの事業者（日本リスク・データ・バンク株式会社、東芝ソリューション株式会社）が公表しました。

海外では共同データベースは既に構築・活用されていますが、いよいよわが国でも、共同データベースが本格稼働し、オペレーショナルリスク管理の高度化は新しいステージを迎えます。

オペレーショナルリスク管理の高度化に先行して取り組んできたAWA、TSA承認行はもちろん、これから内部損失データの収集やRCSAによるシナリオの作成・評価に取り組む金融機関においても、共同データベースを活用すれば高度化への取り組みが極めて容易になります。

海外とは異なり、わが国の共同データベースは、オペレーショナルリスクの計量化だけを目的にするものではありません。個別金融機関のリスクプロファイルや統制面の「強み・弱み」を分析したり、他行で起きたリスク事象を自らの業務プロセスにあてはめ、発生可能性の検証や防止策の検討を行うこともできるものです。

共同データベースは民間事業者が提供しますが、「公共財」としての性格もあり、その運営に当たっては、データベース事業者、参加金融機関の理解と協力が重要になります。

本セミナーでは、わが国におけるオペレーショナルリスク管理の現状を整理し、単独での高度化への取り組みの限界や共同データベースの活用可能性を探ります。今後、オペレーショナルリスク管理の高度化をリードしていく実務家、専門家、有識者が組織の枠を超えて集まり、今後の方向性を展望します。

期 日：2010年9月8日（水）9日（木） 1.5日間

会 場：第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講 師： （敬称略）

- ・FFR+代表  
（日本銀行金融高度化センター） 碓井 茂樹
- ・FFR+メンバー  
（あらた監査法人 リスク・コントロール・ソリューション部 ディレクター） 辻田 弘志
- （注）FFR+は、「金融工学とリスクマネジメント高度化」研究会  
（Forum of Financial technology and Risk management）の略称。

- ・有限責任 あずさ監査法人 FMG事業部 パートナー 内 聖美  
シニアマネジャー 野下 裕文
- ・東芝ソリューション株式会社 金融ソリューション事業部 主任 小高 聡
- ・百五銀行 リスク統括部 内部統制課 調査役 瀧本 和彦
- ・日本リスク・データ・バンク株式会社 取締役常務執行役員 稲葉 大明

対象者：

- ・経営として、オペレーショナルリスク管理に責任を持つ金融機関の役員、リスク管理統括責任者の方

オペレーショナルリスク管理の今後の方向性や共同データベースへの参加の意義、留意点などを理解できます。

- ・オペレーショナルリスク管理、内部監査などの実務に携わる管理者、担当者の方  
共同データベースを実務にどのように活用できるかを理解できます。
- ・申込状況によっては、金融機関の方の申し込みを優先します。

主催：**CMC**

**Computer Based Management College**

( <http://www.nikkin.co.jp/CMC> )

後援：社団法人 全国地方銀行協会  
社団法人 第二地方銀行協会  
社団法人 全国信用金庫協会  
社団法人 全国信用組合中央協会

9月8日(水) 1日目 13:30~16:30

**13:30~15:15**

## **1. オペレーショナルリスク管理の現状と今後の方向性**

講師：FFR+ 代表

(日本銀行金融高度化センター)

碓井 茂樹 氏

(注)FFR+は、「金融工学とリスクマネジメント高度化」研究会(Forum of Financial technology and Risk management)の略称。

- (1) オペレーショナルリスク管理の取り組み
  - ・組織・体制の整備
  - ・基本フレームワーク(リスクの識別、評価、モニタリング、削減/コントロール)の導入
- (2) 取り組みの成果と限界
- (3) 今後の方向性
  - ・データコンソーシアムの活用可能性

(質疑応答)

**15:30~16:20**

## **2. 共同データベースの概要：海外事例等の紹介**

講師：FFR+ メンバー

(あらた監査法人 リスク・コントロール・ソリューション部 ディレクター)

辻田 弘志 氏

- (1) 国際的な共同データベース機関の概要
  - ・ORXの組織、参加金融機関
  - ・設立の目的・趣旨
  - ・提供サービス
- (2) 外部データベースの提供サービス
  - ・公表データの収集と分析

**16:20~16:30**

(質疑応答)

9月9日(木) 2日目 9:30~16:00

9:30~12:30

### 3. 【事例紹介】共同データベースの構築と活用

講師：有限責任 あずさ監査法人 FMG事業部 パートナー 内 聖美 氏  
シニアマネジャー 野下 裕文 氏  
東芝ソリューション株式会社  
金融ソリューション事業部 主任 小高 聡 氏

- (1) 共同データベースの概要
  - ・システム、ネットワーク
  - ・提供サービス、機能、役割
- (2) 共同データベースの活用方法
  - ・リスク管理の高度化
  - ・内部監査の高度化

(質疑応答)

(昼食) 当方にて用意します

13:30~16:30

### 4. 【事例紹介】共同データベースの構築と活用

講師：百五銀行 リスク統括部 内部統制課 調査役 瀧本 和彦 氏  
日本リスク・データ・バンク株式会社 取締役常務執行役員 稲葉 大明 氏

- (1) オペリスク管理の高度化への取り組み
  - (2) 単独での取り組みの限界とデータ共有の意義
  - (3) 共同データベースの概要
    - ・システム、ネットワーク
    - ・提供サービス、機能、役割
  - (4) 共同データベースの活用方法
- (質疑応答)

FAX 03 - 3261 - 4570 CMC事務局まで

第65回 金融機関リスクマネジメントセミナー

39

**新しいステージを迎えた  
オペレーショナル・リスク管理の高度化  
ホームページ用受講申込書(9月8日・9日開講)**

貴社名

所在地 〒

TEL

FAX

Eメール

受付番号	参加者氏名	所属(部・課・グループ)	役職

お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図をFAX致します。

**受講料** A: 51,450円(本体価格49,000円)  
(CMC金融機関機械化研究会)  
(CMC金融ニュービジネス&テクノロジー研究会)  
B: 53,550円(本体価格51,000円)  
(後援団体会員金融機関)  
C: 57,750円(本体価格55,000円)  
(非会員機関)

お申し込み・お問い合わせは、

株式会社 CMC

TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注: 振込先銀行

みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042 (名義) 株式会社 CMC

**振込予定日(できるだけご記入ください) 月 日**

受講についてのお願い

受講料は、セミナー開催日までにお振込み下さい。

銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。

銀行振込に際しては、貴機関名の前にセミナー番号(39)を付記してください。

振込手数料は貴機関でご負担をお願い申し上げます。

開催日一週間以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。

講演の録音、撮影等はご遠慮ください。

ホームページに提携ホテル一覧がございます。特別割引もございますので是非ご利用下さい。

CMCのホームページからWebでの申し込みもできます